

知っておくと安心。緩和ケアについてよくある質問

過去に緩和ケア科の初診のときに患者様・ご家族から質問のあった内容です

Q1. 緩和ケア病棟は何をするところですか？

A1. 緩和ケア病棟では、がんの患者様の苦痛を積極的にやわらげ、より良く生きるためのお手伝いをさせていただきます。苦痛症状の緩和を専門的に行う医師と看護師が担当いたします。

Q2. 緩和ケア病棟には長期間にわたり入院できますか？

A2. いいえ。緩和ケア病棟には、入棟や退棟の基準があります。長期療養を目的とした入院はできません。緩和ケア科では、外来と入院の両方で対応しています。患者様やご家族の希望を尊重しながら、医師と看護師と一緒に判断して入退院を決定しております。症状が緩和されたら、もとの生活の場所で過ごせるように一緒に考えていきます。



Q3. 緩和ケア病棟では治療をしないのですか？

A3. いいえ。緩和ケア病棟では、がんの治癒を目的とした治療は行いませんが、痛み、食欲不振、吐き気、不眠、息苦しさ、だるさなどのつらい症状を積極的に治療します。

Q4. 緩和ケア科の初診では厳しい病状でもすべて伝えるのですか？

A4. いいえ。緩和ケア科の初診では、まず現在の主治医からどのように今の病状を伝えられ、緩和ケア科をすすめられたのかを患者様とご家族にお尋ねします。いきなり病状を伝えたりすることはありません。緩和ケア科では、患者様ご自身の希望に合わせて、病状をお伝えしていくようにしています。



Q5. 緩和ケア科に転科したら生きる希望をあきらめなければならないのですか？

A5. いいえ。現在、緩和ケア科の外来に通院している患者様、緩和ケア病棟に入院している患者様は、治すことは難しいとわかっているにもかかわらず、その中で生きる希望をもって頑張っている方が多いように思います。私共はその様な生き方を応援したいと考えています。

Q6. 緩和ケア科では点滴を一切しませんか？

A6. いいえ。食事がとれないときに、水分や栄養が体に入らないことは不安なことだと思います。緩和ケア科ではまず、食事がとれる方法がないかどうかを考えます。それでも食事がとれない場合は、適切な点滴の量を検討して行っています。点滴をすることで、かえって具合が悪くなることもあるためです。



Q7. 緩和ケア科では放射線治療はしていますか？

A7. はい。痛みなどの症状を緩和する目的での放射線治療は、患者様とよく相談した上で行っています。(過去に入院患者様の5%程度で行われています。)

Q8. 緩和ケア科では外来で薬を出しますか？

A8. はい。緩和ケア科では、症状を緩和するために必要な薬を、患者様と相談の上、処方します。薬についても詳しく説明します。

Q9. 緩和ケア科では検査をしますか？

A9. はい。緩和ケア科では、必要時に患者様と相談の上、検査を行っています。主に、症状や全身状態を把握するのに必要な血液検査(採血)、X線検査(レントゲン)などの苦痛の少ない検査を行います。骨や脳を検査するためにMRIを行うこともあります。



Q10. 代替療法を行っているとは緩和ケア科には移れませんか？

A10. いいえ。外来通院中は、他の医療機関などでの治療を、患者様自らの希望で行うことは一切構いません。しかし、緩和ケア病棟に入院中は、医療者による点滴や注射といった医療行為を必要とする代替療法は、私共が協力することはできません。

過去に、他の病院から抗がん剤とは知らされずに、処方されていたケースもありましたので、行っている代替療法については私共にもお知らせいただくと助かります。

Q11. 緩和ケア科ではリハビリテーションをやっていますか？

A11. はい。患者様の希望や体力に合わせて、リハビリテーションを取り入れています。

Q12. 緩和ケア病棟への入院では入院保険の診断書は書きますか？

A12. はい。職場への診断書、生命保険会社の診断書、介護保険の意見書等を作成しています。

Q13. 緩和ケア科では在宅療養のサポートをしていますか？

A13. はい。緩和ケア科では、できるだけ自宅で過ごしたいと希望される患者様、ご家族のために、在宅療養を支援しています。往診を希望される場合は、私共は往診を行っておりませんので、往診可能な医療機関の医師と連携します。訪問看護を希望される場合は、地域の訪問看護ステーションをご利用できます。地域の訪問看護ステーションと連携し、訪問時に当センターの看護師が同行するシステムもあります。ご希望の際は、ご相談ください。



Q14. 在宅療養中に具合が悪くなったときにすぐ診てもらえますか？

A14. はい。具合が悪くなった時は、いつでも臨時で受診できます。まず、当センターに電話してください。受診以外の相談にも対応しますので、お電話ください。症状はぎりぎりまで我慢すると治すのが難しくなりますので、遠慮なく早めにご連絡いただければ助かります。平日日中は主治医が対応いたします。夜間、土曜～日曜日、祝祭日は当センターの当直の看護師が電話にて対応し、受診される場合は内科の当直医師が対応いたします。

入院が必要な場合にはまずは主治医が対応します。なるべく早く緩和ケア病棟に移れるように調整いたします。

Q15. 緩和ケア病棟で喫煙はできますか？

A15. いいえ。当センターは全館禁煙のため、緩和ケア病棟でも喫煙はできません。

Q16. 緩和ケア病棟はお金がかかりますか？

A16. 緩和ケア病棟はお金がかかる病棟と誤解されることが多いのですが、入院費は健康保険の対象で1日あたりの金額が決まっているので、薬が増えても、検査が加わっても費用は変わりません。また、入院にかかる費用は高額療養費の対象になります。ご不安などがありましたら、患者サポートセンターソーシャルワーカーまでお尋ねください。



Q17. 個室代はかかりますか？

A17. 緩和ケア病棟は36床あり、全室個室です。個室代のかかる部屋は4室あり、南側で日当たり良く、シャワーと応接セットがあります。なお、個室の料金は高額療養費の対象にはなりません。

Q18. 子供（小学生以下）の面会はできますか？

A18. お子様（小学生以下）の面会は感染予防のために、原則面会できません。



緩和ケア科へ受診希望の方は主治医にご相談ください。

埼玉県立がんセンター 緩和ケア病棟 Q&A

Ver. 5 (2016. 5. 26)

Ver. 6 (2017. 4. 24)

Ver. 7 (2017. 8. 01)

Ver. 8 (2018. 3. 29)

Ver. 9 (2018. 8. 01)

Ver. 10 (2019. 5. 01)

Ver. 11 (2020. 4. 01)

Ver. 12 (2023. 4. 01)

Ver. 13 (2024. 3. 25)